

科目名	基礎柔道整復学 I						
分野	専門分野	担当教員	成田 昌健				
開講時期	1学年 2・3学期	単位数	講義	実技	演習	実習	
時間数	60		4				
科目の概要	柔道整復術の概説, 柔道整復師とは(概論), 人体に加わる力損傷に対する身体の基礎的状態, 各組織の損傷, 評価, 治療法を教授する.						
学習の到達目標	柔道整復術の概説, 柔道整復師とは(概論), 人体に加わる力損傷に対する身体の基礎的状態, 各組織の損傷, 評価, 治療法について学習する.						
成績評価の方法と基準	定期試験, 授業態度						
使用テキスト	標準テキストを基にして学習を行う.						
参考文献	柔道整復理論編改訂第6版(南江堂)						
講義計画	講義内容						
1	授業説明, 概説, 人体に加わる力, 損傷に関する身体の基礎的状態, 損傷に加わる力, 痛み						
2	骨の損傷① 教科書P21~23						
3	骨の損傷② 教科書P24~27						
4	骨の損傷③ 教科書P28~31						
5	骨の損傷④ 教科書P31~33						
6	骨の損傷⑤ 教科書P34~36						
7	骨の損傷⑥ 教科書P37~39						
8	骨の損傷⑦ 教科書P40~41						
9	骨の損傷⑧ 教科書P42~43						
10	骨の損傷⑨ 教科書P44~47						
11	骨の治療法(骨折の整復法, 固定法) 教科書P91~94, P98~104□						
12	後療法① 教科書P105~112						
13	後療法② 教科書P113~134						
14	指導管理, 外傷予防 教科書P135~149						
15	総合評価(まとめ)						

16	関節の損傷① 教科書P47～51
17	関節の損傷② 教科書P52～55
18	関節の損傷③ 教科書P56～59
19	脱臼① 教科書P59～63
20	脱臼② 教科書P64～66, P95～96
21	筋の損傷① 教科書P67～69
22	筋の損傷② 教科書P70～73
23	腱の損傷 教科書P74～79
24	末梢神経の損傷① 教科書P80～82
25	末梢神経の損傷② 教科書P83～85
26	軟部組織損傷の初期治療 教科書P97～98
27	診察 教科書P86～90
28	関節可動域表示ならびに測定法①上肢計測, 手指計測
29	関節可動域表示ならびに測定法②下肢計測, 体幹計測
30	総合評価(まとめ)